



〒157-0067 東京都世田谷区喜多見4丁目20番1号 TEL 03-3417-4971(代)  
E-mail: dai131@setagaya.ed.jp http://school.setagaya.ed.jp/tkitami/

## 「壁」を乗り越える経験

校長 紺谷 祥一

今年度、本校では、学校スローガンに「自己実現の達成」～壁を越えて～を掲げ、種々の教育活動を展開してきました。目的を達成しようとするその過程の中で、皆さんは多くの「壁」に出会ってきました。学習の難しさに悩んだこと、部活動で思うように成果が出なかったこと、友人関係で迷ったことなど、その時そのときに、その「壁」と真剣に向き合い、何とか乗り越えようと葛藤したことと思います。時には立ち止まり、不安や迷いを抱えることもあったはずですが、壁に立ちただかれた経験は、決して無駄ではありません。むしろ、そのときにどう考え、どう行動したかが、自分の成長につながっているはずですが、すぐに乗り越えられる壁ばかりではなかったでしょう。あきらめずに向き合った時間が長かった壁ほど、自身を大きくさせたのではないのでしょうか。

令和7年度 学校スローガン

## 「自己実現の達成」～壁を越えて～



壁にぶつかることは、特別なことでもなければ、まして、不幸なことでもありません。自分が幼かった頃を思い返せば、成長の過程で必要な出来事であることに気が付くでしょう。思い出してみてください。最初はできなかったことが、少しずつできるようになったことは少なくないはず。苦手だったことに、あきらめずに取り組んだ経験は誰にもあるものです。それこそが、「壁を乗り越える経験」です。中学生になった今、大切なのは壁に出会ったときにどう向き合うかということだと思います。大きな成果でなくてもかまいません。誰かに褒められなくてもかまいません。自分なりに努力し、一步前に進んだ経験こそが、本当に価値のあるものになることをもう皆さんも経験からわかっていると思っています。そして、もう一つ大切なことがあります。それは、壁を一人で乗り越えた人はいない、ということです。卒業式でも話をしましたが、友達の励まし、先生の助言、家族の支えがあったことにも気が付きます。そうした周りの人の力、応援があって、私たちは前に進むことができているのです。



今年も見事に咲いた中庭の枝垂れ桜

私は若いころ、中国広東省にある日本人学校に勤務していたことがあります。当時高層ビル内に間借りしていたキャンパスから、グラウンドを備える自前の校舎に移転するのを機に、日本の桜を校庭に植えようと学校をあげて準備をしたのですが、『亜熱帯で常春気候の広州の地で桜を植えても、木は一年中青々と葉を繁らせるだけで花は咲きませんよ』、という専門家の指摘を受けその企画が水泡に帰したのを思い出します。桜は厳しい冬を越えないと決して咲くことのない植物なのだそうです。喜多見中の中庭の枝垂れ桜も、昨年末からの厳しい寒さを経て、この春も卒業式に美しい花を添えてくれました。

壁を越えたとき、人は自信を得ます。そして「次の壁にも挑戦してみよう」という前向きな気持ちが生れます。学校は、そのような経験を積み重ねる大切な場所です。これからも喜多見中では、皆さんが自分なりの「壁」にしっかりと向き合い、仲間とともに乗り越えていけるよう教育活動を進めていきます。この一年間の経験をぜひ自信に変えて、それぞれは次のステージへ進んでください。「周囲の壁」、「想像の壁」、そして、「自分の壁」を越えて進みましょう。若いうちの困難はむしろ歓迎し、「壁を乗り越える経験」をたくさん積み、自分だけの美しい花を咲かせ、確かな実を結んで欲しいと強く思っています。

保護者の皆様や地域の皆様も引き続き温かいご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。これまで本当にありがとうございました。子どもたちのこれからのさらなる成長を、心から願っています。

# 各学年およびE組の生徒たちの活動の様子をお伝えします

## 1年生の様子から（三津間 響己）

少しずつ乗り越えようとする姿

今年度の学年目標は「全員が心から笑顔でいられる学年」でした。その実現に向けて、「当たり前のことを完璧にこなす」「人のために行動できる」「自分のことを大切にする」という3つの柱を大切にしてきました。

日々の学校生活では、挨拶や時間を守るといった基本的な行動が徐々に定着し、落ち着いた雰囲気でご過ごすことができるようになってきました。また、友達が困っているときに声をかけたり、行事や係活動で互いに支えあったりする姿も増え、全体的に温かいつながりが生まれてきました。一方で、思い通りにいかず悩んだり、うまく関係を築けなかったりする場面もありました。学年目標の達成という点では、まだ十分とは言えない部分もありますが、その分これからの伸びしろが大きいとも言えます。そうした経験の中で自分や相手と向き合い、少しずつ乗り越えようとする姿は、確かな成長として表れています。

2年生になると学校の中心として求められることも増えてきます。この1年間で身に付けた力を土台に、自分を大切にしながら周りの人のことも考えて行動し、より良い学年・学校をつくってほしいと思います。

## 2年生の様子から（学年主任 崎 涼太）

いよいよ中学校2年生という大切な時期を終えようとしています。昨年の4月には「職場体験」「校外学習」といった2年生ならではの大きな行事を生徒全体に紹介し、あの時は「本当にそんな行事があるのかな？」というような表情を浮かべていましたが、どの行事も無事に成功させ、中学2年生として立派な姿を見られるようになりました。とりわけ、目を見張るのが学習に向かう姿勢です。学級委員が企画した「昼休み自習教室（通称スタバ）」には回を重ねるごとに利用者が増えました。3年生という最終学年を目前にそれぞれエンジンがかかっている様子です。多くの生徒が初めて迎える本格的な進路選択の時期、それが中学校3年生です。2年生は「見られる2年生」を学年目標に、いつ誰にみられても誇れる学年にしようと邁進しました。来年度は「魅せる3年生」です。在校生、保護者、教職員を魅了し、卒業を惜しまれるような学年になってほしいという願いを込めています。みなさんそれぞれが幸せな巣立ち、幸せな人生を歩めるようにあと1年、一緒に歩いていきましょう。来年の卒業式に向かって、最高の1年間を過ごしましょう！頑張れ！！「虹色学年」！！



## 3年生の様子から（学年主任 安達 敏江）

応援される人、学年

3月19日、第44回卒業証書授与式が挙行され、138名の生徒が喜多見中学校を巣立っていきました。3年生の一年間は“月日に関守なし”というように猛烈なスピードで過ぎていきました。この三年間『応援される人、学年になる』という目標を掲げ、それを体現すべく、学年全員で切磋琢磨してきました。“凡事徹底”“桜梅桃李”“和而不同”当たり前のことを当たり前に行い、人と比べず自分の個性を磨き、主体的に考えて行動する。折につけ、子どもたちに話をしてきました。その成果が見えたのは、まず、修学旅行でのことでした。2日目の班別自主行動、25班全てが帰宿の時間を守ったのです。慣れない京都観光、トラブルがあった班もありました。子どもたちは班長を中心に主体的に考え、行動し、私たちとの約束を守ってくれました。また、合唱コンクールの学年合唱での姿。全員が本気を見せてくれました。心が震える、素晴らしい合唱でした。そして、受験本番。自分の目標に向け、それぞれが自分のベストを尽くしてくれました。集大成は卒業式での姿でした。『応援される人、学年』がそこに在りました。その一挙一動がこの三年間を表していました。本当に立派な姿でした。胸を張って送り出すことができました。次のステージでも応援される人で在り続けてください。学年教員団、これからもずっと全力で応援しています。保護者の皆様、この三年間のたくさんのご支援・ご協力、心から感謝いたします。ありがとうございました。

## E組の様子から（1年担任 桐山 侑紀）

先週卒業式を終え、今年度もあとわずかとなりました。今年度のE組はどの学年もとても落ち着いた印象です。1年生は小学校から中学校へと環境が大きく変わって中学校での生活や授業にも慣れたと思います。2年生は先輩として1年生に優しく声をかける様子や、一緒に課題や行事に取り組む姿が見られ、この1年間での成長を大きく感じました。3年生は自分の進路に向けて受験勉強や面接練習などと向き合い、先生方と面接の練習をしたり、勉強に熱心に取り組んだりしている姿がとても印象的でした。E組は各クラスごとにもとても仲が良かったです。普段はお互い干渉しすぎないところが良いところだと感じています。しかしながら困っている生徒がいると積極的に助けたり協力したりと、学年問わず自然とお互いを思いやることができます。そんな優しく素直な生徒たちにこの1年間、温かい気持ちをたくさんもらいました。2年生3年生になっても自分に素直に、挑戦してできることを増やしてほしいと思います。（写真は3月9日訪問「榎尾俊雄発明記念館（成城）」の様子から）



## 第44回卒業式 ～ 3年生が巣立って行きました ～

19日(木)、第44回卒業式を挙行了しました。たくさんのご来賓と保護者の皆様が見守る中、3年生138名が喜多見中から巣立ちました。在校生代表として2年生の 藤山 ●● さんが伝統を引き継ぐ決意の送辞を送れば、答辞として3年生の 石田 ●● さんがさらに熱く誓う場面がありました。何事にもひた向きで一生懸命な3年生をこれまでたくさん“応援”いただきました皆様に対し、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

### 3年生代表生徒による答辞より(抜粋)

私たちはこれから、それぞれの道へと歩き出します。その先には思い通りにいかないことや、立ち止まりたくなる瞬間もあるかもしれません。そんな時には、喜多見中学校で出会った仲間のことを思い出したいと思います。共に笑い、悩み、時には励まし合いながら過ごした三年間は、これからの人生においてきっと私たちの大きな力になってくれるはずです。私たちはこの学校で、「応援される人」とはどのような人なのかを学びました。それは人の努力や挑戦を認め、誰かの頑張りを素直に応援できる人なのだと思います。これから先、どんな場所に進んだとしても周りの人から信頼され、自然と応援されるような人へと成長していきます。

喜多見中学校過ごした三年間の思い出と、支えてくださったすべての方々への感謝を忘れず、これからの人生を力強く歩んでいくことをここに誓います。



### PTAより卒業生に記念品が贈られました

この度の卒業生に対して、PTAより折り畳み傘(写真右)が記念品として贈呈されました。17日(火)の式予行の際には、森茂会長にご登壇いただき、代表生徒に対し、同記念品の目録の贈呈もありました。お忙しい中、ご来校いただき御礼申し上げます。また、卒業生の保護者宛てには、「標準服リサイクル」のお願いもしています。ぜひ、ご協力をお願いします。PTAの活動について引き続き、ご理解とご協力をお願いします。ありがとうございました！



今号の「わたしのきたみち」は、池田 ●● さん(R.5年度卒)からのメッセージ。崎先生の学年だった池田先輩は、行事のしおりの表紙絵を積極的に引き受けてくれるなど、いつも明るく協力的な生徒だったとか。単位制高校で充実した生活を送っている様子ですね！

こんにちは！令和5年度に喜多見中学校を卒業した、都立芦花高校2年生の池田●●です。まずはじめに都立芦花高校について少し説明させてください。芦花高校は都立高校有数の天文ドームを備えている学校であり、それを筆頭として施設がとても綺麗なのが大きな魅力の一つです。また単位制普通科という珍しい制度を導入しており、単位において柔軟な選択ができるため、受験勉強などにも個々人が進めたいように取り組むことが可能です。

中学校ではボランティア部と美術部に所属していました。ボランティア部ではピオトープを作ったり畑で夏野菜を育てたりするなど、沢山の貴重な体験をすることができました。特に印象に残っているのは、卒業式や入学式時に廊下の飾り付けをしたことです。自分の考える完成図を他の部員と共有するのが難しく、思うようにいかずに部員とぶつかることがありました。期限内に考えがバラバラな集団の中で1つの目標に向かって製作を進めることの難しさや、完成したときの達成感を知ることができたこの経験は、文化祭の準備等で生かすことができました。

中学校時代、私はあまり勉強が得意な方ではなく、模試ではいつもD~E判定でした。それでも目標を下げずに取り組みましたが、最後の1月の模試の結果もC判定に終わり、正直合格は絶望的でした。ですがそこから試験当日まで、塾の先生や喜多見中の先生、友達に支えてもらいながら必死に勉強しました。たくさんの人たちの協力のおかげで、最後の努力が功を奏し、最終的に私は芦花高校に合格することができました。この経験などを通して、私は周りの人達に支えられて頑張れたんだと改めて思います。受験が終わったばかりかもしれませんが、皆さんどうか最後まで諦めずに頑張ってください。



## 生徒会の力輝く KITAMI ドッジボール大会 今年度も大成功となりました！

今年度も生徒会主催で昼休みにドッジボール大会を実施しました。今年の工夫は学年をまたぐ「縦割りチーム」での対抗戦。格技室や体育館で連日熱戦が繰り広げられました。今年の大会にも、各チームに一部先生たちが参戦。ボールを持ったり、ぶつけられたりした際には場内が一段と盛り上がりました！自分たちの昼休みを活用し、企画から運営まで生徒のみで展開する本活動。今年も笑顔と爽やかなフェアプレー、そして大きな歓声に会場が包まれました！



### 春休み中の生活について（ご家庭でお子さんと一緒に☑をお願いします！！）

保護者の皆様におかれましては、年度末はたいへんに忙しく、お子様とゆっくり向き合う時間が少ないかと存じます。しかし、子どもたちにとっての春休みは、期待と不安が交錯する特別な時期であり、ご家庭での適切な声掛けが不可欠です。4月からの新しい生活が円滑にスタートできるように、ご家庭においてぜひ、以下の事柄についてお子様と確認をする時間を設けてください。休業中も何かありましたら、遠慮せず学校にご相談ください。

- **不安や悩みを抱えたときには一人で抱え込まず、助けを求めること**が大切です。また、警察を含めた身近にいる信頼できる大人に対してSOSを出すこと、相談窓口等がたくさんあるので利用しましょう。
- **強い規範意識をもって、社会のルールを守ろうとする態度や正しい判断の下に行動すること**が大切です。とりわけ**性に関わる誘惑に絶対に負けないこと**（被害者にも、加害者にも、傍観者にもならないために！）
- コミュニティ型のWebサイトや無料通話アプリケーションの利用に関わるトラブル、過度な使用によるインターネット依存についても十分に注意をしましょう。**SNSの正しい使い方を徹底**し、トラブルや事件、事故の被害者・加害者・傍観者にならないよう細心の注意をはらうこと。
- 交通事故に注意しましょう。特に**自転車の乗り方については、ルールを守ること**。万一、事故等が発生して加害者になった場合は大きな損害賠償を負う可能性があります。事故が発生した際は警察への通報や保護者、学校への報告等も確実にを行うこと。
- **外出の際は家の人に対し行き先、経路、同行者、帰宅予定時刻等をきちんと知らせること**。もしも、**不審者と遭遇した際は、必ず110番通報**をして地域の安全維持に協力すること。
- 電話等による個人情報の聞き出し等に十分注意すること。春休み中は、特にトラブルが多く寄せられています。**みんなで互いのプライバシーを守ることが大切です**。

**春休みは  
特別な時期**

### 4月の予定から

- 4月 6日（月）始業式・着任式
- 7日（火）入学式
- 8日（水）新入生歓迎会 ※給食開始
- 10日（金）身体測定
- 14日（火）モーニングキャリア
- 16日（木）きたみ人権デー 避難訓練
- 20日（月）～23日（木）まで三者面談  
※2,3年生は希望制（詳細は後日すぐーるにてお知らせ）
- 24日（金）全国学力調査 生徒総会
- 30日（木）全国学力調査 いじめ防止プログラム



### 4月の相談室の開室日

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7 □	8	9 ○	10	11
12	13	14 □	15	16 ○	17	18
19	20	21 □	22	23 ○	24	25
26	27	28 □	29	30 ○	1	2

相談室直通ダイヤル 03-3417-5372

【担当SC】 □：渡邊（由） ○：渡邊（麻）

【場所】 相談室は中央校舎1階 保健室の隣です

**どんなことでも遠慮なく、  
ご相談ください！**

#### 始業式は4月6日（月）

【登校時刻】 8時00分から25分に昇降口前で配布される紙面で新クラスを確認後、新クラスへ移動します。

【下校時刻】 11時30分頃（給食なし）

【持ち物】 上履き、雑巾、筆記用具、メモ帳、キャリアパスポート、宿題など

今年度も本紙発行に際しましては、非常に多くの方々にご協力をいただきました。この場をお借りして感謝を申し上げます。ありがとうございました。また、来年度も可能な限り充実した紙面やホームページを通じて、子どもたちの頑張りを中心に学校の様子をお伝えしたいと思っております。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。